

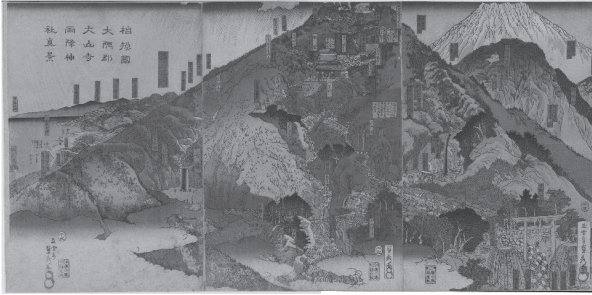
第6章 地図・絵図・浮世絵

さがみのくにおおすみぐんおおやまでらあぶりじんじゃしんけい

#52 相模國大隅郡大山寺雨降神社真景

作者：五雲亭貞秀（ごうんてい・さだひで 1807-1878 頃）

制作：安政5年（1858）



[K17.64/57] サイズ：37×74cm

江の島から富士山までを背景に収めた大山の全景を描く。安政5年（1858）の作とされている。大勢の参詣者や、石尊社、大山不動尊などが描かれる。

作者の五雲亭貞秀は、歌川貞秀。本名橋本兼次郎。歌川国貞門下。横浜浮世絵の第一人者とされる。細密な描写と画面構成が高く評価されている。

おおやまめいしょうはっけい

#53 大山名勝八景

作者：松岡岩次郎（まつおか・いわじろう）

制作：明治32年（1899）



大山の名勝を描いた八枚物の絵図。
作者の松岡岩次郎についての詳細は不明。
絵図タイトルは、左上から「雨降山絶頂」、「不動尊境内」、「二重瀧」、「雷山及八段瀧」、「元瀧」、「良弁瀧」、「新瀧」、「大瀧」。

[K291.64/36] サイズ：40×55cm

◇デジタル：神奈川県郷土資料アーカイブ